

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3470203906
法人名	和 同 会
事業所名	グループホーム 五日市
所在地	広島市佐伯区五日市町下河内188-6 (電 話) 082-927-2511
評価機関名	医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成19年9月5日

【情報提供票より】(19年 7月 29日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 14 人, 非常勤 4 人, 常勤換算

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨鉄筋 コンクリート 造り
	6 階建ての 5 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	12,600 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,500	円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89 歳	最低	68 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	広島グリーンヒル病院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム五日市は、市内西部自然の景観のある環境に恵まれたホームです。病院に併設されている為入居者や家族には大変安心感をもたれている。又医師である管理者は認知症介護実践研修も受講され、より理解が深く入居者本位の運営方針である。職員全員の笑顔の協力体制が入居者の落ち着きや笑顔からも伺うことが出来た。「入居者個別での外出の支援を1週間に1度行う。」という今年度の目標を日常業務の中で職員は意欲的に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>日常的な外出支援に力を注ぐ為に、併設のデイサービスの車を利用し個人の外出を行っている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>近隣との付き合いが、建物5階にホームが位置する為難しい面もあるが、併設のデイサービスや病院の職員などとの交流も近隣ととらえて積極的に話し掛けを行っている。今後はフロア内の空き部屋の活用なども考えている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、メンバーは利用者、家族、地域社協の協力委員、特養園長、地域包括支援センターの相談員等であり、今後一層の理解の深まりを期待します。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族は概ね満足観をもたれているがそれに甘えず、創意工夫が望まれます。入居者の自宅を職員同行で訪問する取り組みは好評である。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>公民館などの社会資源をより一層活用され、其の機会のなかで地域への連携が進展されることを期待します。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を詰所内や廊下に表示しており、ミーティング等で話されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員が理念の共有をしている。日常の声かけや入居者と共に行っている作業などを職員は理念に沿って行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設の病院や隣接したケアハウスと合同で行事をしたり、6階にある託児所の子供達と交流して、入居者に喜ばれている。		地域の自治会や老人会等に参加して地元の人々にホームの理解を深めてもらう努力を望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価において、外出支援の回数を増やすことを改善策としていたが、1週間に1回の外出支援に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の推進会議において地域の代表である、社協協力委員の方の情報をいただいたり、ホームの二入居者の状況を報告したりしている。		推進会議のメンバーをより広げ、より地域密着型のホームを目指されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム長や職員は試案を検討中である。		社会資源(公民館 学校)をもっと身近に活用されることが提案された。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年4回、広報誌「和らぎ」を発行して、入居者の状況をお知らせし又、面会時に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会等で意見を聞いている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は殆んど無く、寿退所で退職された方を入居者と共にお祝いをして送った。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が研修に参加できるように取り組んでいる。意欲的な上司の後姿で学んでいると職員より発言があった。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回法人内の職員の集まりに参加して交流している。		同法人内のグループホームの職員同志の交流を検討中である。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	併設の病院から入居希望者の方は、2～3回来所され暫く時間を過される。		今後は他の施設や居宅からの入居希望の方に対しても実施予定。
方に					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	家族のような人間関係で支え合う関係を築く努力をされている。最高齢(98歳)の方より体験談を日常的に聞き出してケアの参考にしてている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式を取り入れ、本人の希望意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	ケアプラン作成時に本人や家族の意向を聞き、介護計画に反映させるように努めている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月ごとにプランを作成し見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	リハビリや通所リハを利用している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どの入居者のかかりつけ医はグリーンヒル病院であり職員が外来に同行して支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、担当医師と常に連絡をとり、病院と連携し、家族と共に繰り返し話し合い、情報は全職員が共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者ひとり一人に対しての言葉かけや対応は丁寧である。入居者と相性の合う職員が担当になるよう努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり1人のペースや体調に合わせて食事の支度(たまねぎの皮むき、台拭き、配膳)下膳などをされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設の病院と同じ食事ではなく、ホームで献立を立て、買い物をし、ホームで調理されているので好みを充分に取り入れながら準備や後片づけを共にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	出来るだけ本人の希望を聞いて入浴されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活の中で希望等を聞き出し、洗濯物の整理、おやつ作り等、役割をもってもらい自信につなげる支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望を聞き、1人では帰れない自宅に職員同行で帰宅出来て喜ばれ、落ち着かれた入居者もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの玄関は夜間以外は鍵はかけない。建物の5階に位置しているが見守りでエレベーターにも自由に乗り1階からの外出も可能である。他階の施設の利用者や職員とも連携を取り合って情報を得るようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練が併設の施設と共に行われている。ホーム長は日常にも避難箇所について職員と話し合いを重ねている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事が進まない方には必要な栄養を摂取してもらう為に、おやつに栄養バランス食品を加えるなどの工夫をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には入居者と職員の共同作品の生花が置かれ楽しさを感じさせる置物など、もてなしの優しさの雰囲気が感じられた。リビングの1部は畳部屋で、入居者1人ひとりのお気に入りの場所があった。職員の持込のアンティークなミシンは入居者の心をとらえている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に自宅から持ち込まれたベッド、椅子、小タンスなどが使われている居室もある。中には家族が時々宿泊される為小さな冷蔵庫や食器棚が置かれて家庭的な温かさが感じられた。</p>		